

長崎県立鹿町工業高等学校いじめ防止基本方針

【校訓】 われ共に学びて 道を究めん

【めざす生徒像】 豊かな人間性 明るく健やかな心身 協調・協同できる人格の育成

【外部委員】

○スクールカウンセラー
○スクールソーシャルワーカー
○PTA
○学校評議員等

【いじめ・不登校対策委員会】

○校長 ○教頭 ○カウンセラー ○保健主事
○養護教諭 ○教務主任 ○生徒指導主事
○生徒会主任 ○学年主任 ○学科主任
○寄宿舍環境整備部主任

【関係機関】

○出身中学校 ○警察署
○民生児童委員
○子ども・女性・障害者支援センター等

【いじめの防止】

本校では、鹿工訓練と称して集団訓練を実施している。この訓練は、自己実現を図る能力や態度の育成のため、平成21年度から始めている。保健体育科の「規律訓練」と工業人として必要不可欠な各科実習前に行う「安全点検」を含んだ訓練である。このような意識づけを生徒につけるため、全ての授業開始時に実施しており、各教科で工夫した鹿工訓練を実施している。

さらに平成25年度からは「命を守り大切にします」の文言を追加し、工業高校ならではの「安全教育」と規律を軸にした「人間力の向上」に「命を大切にする」習慣を身につけさせ、いじめ防止にも寄与している。

【早期発見】

いじめの対応で大事なことは、いじめの兆候をいち早く発見することが大切である。そのためにも日頃からの生徒の観察や定期的なアンケート等をとおして生徒のサインを見逃さない教職員の資質を高めておくことが大事である。

命を大切にす心の教育の推進を含め、いじめの早期発見のため＜教職員の取組（計画）＞・＜生徒の取組（計画）＞・＜保護者の取組（計画）＞を月別にまとめると次のようになる。

- 4月 校長講話、TK式M2検査、中学校訪問
- 5月 学年集会（1年生宿泊研修）、被害調査、フレッシュ面談
- 6月 悩み・いじめアンケート、授業困り感アンケート
- 7月 薬物乱用防止教室、「長崎っ子の心を見つめる」教育週間、保護者面談、被害調査
- 8月 校長講話（命を大切にす内容を含む）、平和教育
- 9月 道徳教育
- 10月 悩み・いじめアンケート、ボランティア活動・学校周辺の清掃活動、被害調査
- 12月 校長講話（命を大切にす内容を含む）、被害調査
- 1月 情報モラル教育
- 2月 悩み・いじめアンケート、被害調査

【いじめに対する措置】

いじめの発見・通報を受けた場合には、特定の教職員で抱え込まず、速やかに組織的に対応する。被害生徒を守り通すとともに、教育的配慮の下、毅然とした態度で加害生徒を指導する。

- 組織的な対応
- 被害生徒とその保護者への支援
- 加害生徒とその保護者への指導・支援
- その他の生徒への指導・支援
- 関係機関への連絡・相談